

防犯設備士養成講習・資格認定試験の日程

年度	NO	回数	募集・講習・試験の日程
2023 年度	1	第 122 回	募集：4/17～5/28 講習：4/24～7/2 試験：4/27～7/2
	2	第 123 回	募集：7/10～8/20 講習：7/17～9/24 試験：7/20～9/24
	3	第 124 回	募集：10/2～11/12 講習：10/9～12/17 試験：10/12～12/17
	4	第 125 回 (2024 年)	募集：12/25～2/4 講習：1/1～3/10 試験：1/5～3/10※

※ 年始休みにより、受験期間(1月5日)が変更となる場合があります。

受講・受験の方式が、IT 方式になっています

【受講】

インターネット(Wi-Fi 可) 経由でストリーミング配信する講習動画を視聴する方式です。

受講期間内であれば、何回でも視聴することができます。スマートフォンでも視聴可能ですが、小さな画面のため、講習用資料の文字が見えにくい場合もあることにご留意ください。

別途、有償で DVD も準備しています。

【受験】

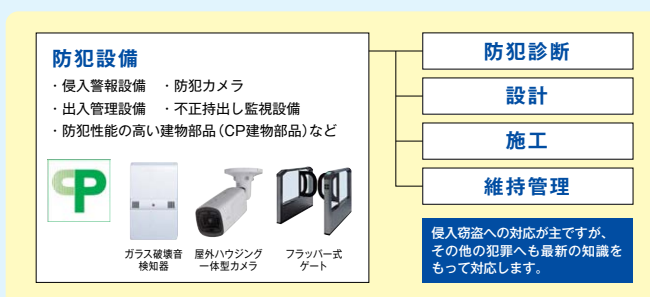
全国 47 都道府県にある約 300 箇所のテストセンターで、ご都合の良い時間を各自予約して受験します。テストセンターにあるパソコン上のマウスで回答を選択する方式です。

受験期間内であれば、予約は何回でも変更可能(予約した日の 3 日前迄)です。

防犯設備士は「防犯のプロフェッショナル」

防犯設備士は、防犯設備に関する知識・技能を有する専門家として当協会が認定する資格で、1992 年より現在までに、約 31,000 人の方が、資格を取得し、「防犯のプロフェッショナル」として、警察、自治体や各地域の防犯設備士関連の地域協会と連携し、地域の防犯対策や安全安心まちづくりなどに活躍しています。

また最近では、防犯カメラ等の防犯設備を調達する際に自治体の入札仕様書に、「施工・調整や保守点検については、防犯設備士の有資格者が行うこと」ということが記載されることもあり、防犯設備士の役割がますます重要になってきています。



2023年度 総合防犯設備士受験セミナー・資格認定試験のご案内

総合防犯設備士は、防犯設備士の上位資格です。

- (1) 防犯設備士の資格取得後3年以上の実務経験をもって、さらに総合的な専門知識や判断力及び応用力によって、防犯システムにおける**監理、監査、コンサルティング**ができる能力を有する、**防犯設備関係の認定資格としては国内最高ランクのものです**。「ハード（設備）面」だけではなく、**管理体制の構築・セキュリティ意識の高揚・監査**など、いわゆる「ソフト面」も含めた提言をします。
- (2) 防犯設備士に対する指導・育成業務を行うことができます。
- (3) 「セキュリティのプロ中のプロ」として地域住民や警察・自治体関係者などと協力し、積極的に地域での防犯活動を展開して、地域の安全安心に貢献しています。これらの活動の中で、リーダーシップを発揮できる者として期待されています。

2023年度の総合防犯設備士受験セミナー・資格認定試験を下記の要領で開催します。受講・受験を希望される方は、お申込みください。また受験セミナーは、今年度も新型コロナウイルス感染防止対策としてWebツール(Zoom)を用いたオンラインセミナーとします。講習・試験の詳細を順次当協会のホームページに掲載します。

No	名 称	開 催 日	開催地	会 場 名	募集人員	募集期間
1	受験セミナーNo.1	7月15日(土)	東 京	オンライン	60名	6/12～7/9
2	受験セミナーNo.2	7月22日(土)	大 阪	オンライン	60名	
3	受験セミナーNo.3	8月26日(土)	東 京	オンライン	60名	7/24～8/20
4	受験セミナーNo.4	9月 2日(土)	大 阪	オンライン	60名	
5	一次試験A(筆記試験)	10月 7日(土)	東 京	飯田橋レインボービル	—	7/1～9/18
6			大 阪	新梅田研修センター	—	
7	一次試験B(講習認定) 二次試験B(面接試験)	11月 4日(土)	東 京	日本防犯設備協会	書類審査 合格者	6/1～6/30
8	二次試験A(面接試験)	12月 2日(土)	東 京	日本防犯設備協会	一次試験 合格者	—
9		12月 9日(土)	大 阪	新梅田研修センター		

2022年度の更新講習の結果と2023年度について

2021年度は大阪府、京都府、兵庫県と府県単位で試行を行いましたが、2022年度は、府県をまとめたブロック単位での実施とし、中部ブロック、関西ブロック、九州ブロックで実施しました。運営は、日本防犯設備協会、ブロックで中心となって実施する地域協会と周辺の地域協会が協力して実施する形となりました。

該当するブロック外からの参加も多く、どの会場も当初想定していた人数を上回るお申込みをいただきました。盛況だった理由は、更新講習が2年目となり認知されてきていることと各府県ではなく周辺を含めたブロック単位で実施したことだと分析しています。

2023年度は更に関東ブロックも加えて実施いたします。

更新講習は次のような時間構成で実施しました。

1) 午前の部 10:00～12:00

地域協会が主催する催しで、更新対象者は参加任意。更新対象者以外が参加可能。
防犯関連機器の展示会やセミナー。

2) 共通講習 13:30～15:00

各地域共通の講習内容で資格更新テキストの内容を説明する。資格更新テキストは、犯罪情勢、設備機器（出入管理設備、LED防犯灯）の情報更新の他、防犯カメラ特集として、4K/AHDカメラ、ネットワークの基礎、防犯カメラ画像と個人情報保護法との関係、施工など盛り沢山の内容となっている。

更新対象者は参加必須。更新対象者以外は参加不可。

3) 地域協会主催セミナー 15:10～16:40

地域協会が主催するセミナーで、更新対象者は参加任意。更新対象者以外が参加可能。



防犯カメラ-1



防犯カメラ-2



レーザスキャンセンサ



ドローン



共通講習の様子

※2022年度の更新講習のまとめは次ページを参照してください。

2022年度の更新講習のまとめ

実施ブロック	関西	九州	中部	関西
実施場所	エル大阪 (大阪)	福岡県消防会館 (福岡)	ウィルあいち (名古屋)	エル大阪 (大阪)
実施日	2022年9月26日	2022年10月21日	2022年11月12日	2023年2月28日
共通講習参加数	72名 関西2府4県内:59名 ブロック外:13名	38名 九州ブロック内:32名 ブロック外:6名	51名 愛知・岐阜・三重:40名 ブロック外:11名	50名 関西2府4県内:37名 ブロック外:13名
午前の部の内容	防犯機器展示会 (17社) ・AI防犯カメラ ・インターホン ・センサー ・電気錠 ・セキュリティゲート ・鍵管理BOX など	セミナー 1) AIカメラとは、AIカメラの活用シーン 2) 安全・安心は当事者意識をもって自己管理	防犯機器展示会 (6社) ・AI防犯カメラ ・インターホン ・電気錠 など	防犯機器展示会 (14社) ・AI防犯カメラ ・インターホン ・センサー ・電気錠 ・セキュリティゲート など
地域協会主催セミナーの内容	約50名参加 1) レーザースキャンセンサー 2) 防犯カメラのAI利用の現状と今後	約16名参加 1) 防犯設備士に期待するもの 2) 過去の重要犯罪の分析と対策を考える	約31名参加 1) AI機能付き防犯カメラについて	約63名参加 1) レーザースキャンセンサー 2) 防犯カメラのAI利用の現状と今後

防犯設備士(優良)について

資格更新をしていただいた方の優位性を高めるために新規に制定した制度です。

◆防犯設備士(優良)とは ※通称、優良防犯設備士(口頭で呼ぶ場合)

- (1) 資格更新を行い、かつ有効期限内であり、資格更新時及びその後も継続的に最新の知識を取得しており、社会的信頼性が高い。
- (2) 連絡先が明確であり、日防設から必要に応じて連絡することができる。
- (3) 2020年4月1日以降の資格更新者から適用開始

◆優位性を高めた内容

- (1) 資格者証を一新し、一目で防犯設備士(優良)であることがわかる。
- (2) 専用の名刺シールとネックストラップを使用することができる。
- (3) 日防設ジャーナルを毎号受領でき、その他の有用情報も継続的に受領できる。

◆防犯設備士(優良)の位置付け

広義では防犯設備士ですが、資格更新を行い、かつ有効期限内の方の呼称として、防犯設備士(優良)を使用すること。防犯設備士は以下の3グループになる。

- ① 資格認定試験に合格して資格者証を取得後、初回の資格更新待ちのグループ
- ② 資格取得後3年以上経過し、資格更新したグループ
(これを防犯設備士(優良)とする)
- ③ 2012年度以前に資格取得し、資格更新していないグループ

●新資格者証、名刺シール、ネックストラップのご紹介



名刺への記載例と名刺シール



資格者証携帯用ネックストラップ

